

「私たち人類が・・・」

沖縄県 上山中学校 三年 荒谷 侑舞

「寒すぎー!!」

今年の沖縄は例年になく寒い。寒すぎて、沖縄県民の私はジャンパーなしでは沖縄でも過ごせないくらいだ。だから、お風呂に入るときはついシャワーを出しっぱなしにしてしまう。すると、毎回母に

「もったいないから、シャワーを使わないときはちゃんと止めて!!」と怒られる。

何度も言われるうちに意識はするようになったが、それでも寒すぎてシャワーを止める気にはなれない。

「水なんて沢山あるし!!私一人が節水したところで意味なんてないよね・・・」

そう考えていた。

そんなある日、学校に貼られていたポスターに目がとまった。そこには「水について考えてみよう」と書かれていた。

「水について」と言われても、水のことなんて考えたことがなかったのだ、正直よく分からなかった。でも、毎日使っているお風呂は、水について考えることと関係あるのではないか?そう思い、私はお風呂でどのくらいの水を使っているのか調べてみることにした。

シャワーを一分間流しっぱなしにすると、約12リットルの水を使う。十八分間使うと、浴槽一杯分の水の量になる。

私は驚いた。流しっぱなしにしているだけで、こんなにも大量の水を使っているなんて。現在、地球上で生活用水や飲料水として使える水量は、地球全体のわずか0.01%しかない。これは、1.5リットルのペットボトルに目薬を数滴たらず程度の量だ。今の日本の水資源の状況はどうだろうか?日本は雨には恵まれているものの、水資源が豊富とはいえず、水の輸入に頼ることも多い。さらに、日本の水資源は減少傾

向にあり、生活で実際に使用できる水の量は、人口一人あたりで見ると世界平均のおよそ45%程度しかない。

私は初めて知った。日本は水資源が豊富ではなく、自由にたくさん使えるわけではないことを。みんながみんな知っているわけではなく、私のように「水は無限にある」と思っている人もいるだろう。しかし、知ったからと言って、必ずしも節水しようとする人が多いわけではない。もしこのまま誰も対策をせず、この現状を知らないままではどうなるだろうか?きつと、この国も世界も、水不足に苦しむことになるだろう。

水も大切な資源であり、大切に使えば次の世代に繋げることができる。それが今、私たちにできることではないか。でも、誰も大切に扱わず、このまま無駄に使い続けたら――

このままでは私たちは自分たちの首を絞めることになるのではないか?